

2023 年度 国語（第 2 回）ミニ解説

一

- 問一 言葉の知識に関する問題です。「ちらりと」はほんの少し見るときの様子を表していますが、実際に「ちらり」という音がするわけではありません。同じように、実際には音がしていない言葉を選びます。
- 問二 文章の筋道をつかむ問題です。主人公の「私」（凜子）は美緒の心遣いに感謝していますが、少し後を読んでわかるように、「私」は一人になって誰とも話をしたくない気持ちになっています。
- 問三 文章の筋道をつかむ問題です。すぐ後の「一見楽しそうに～引きつっている」という文乃の様子や、少し前の「自虐的に声を上げた」文乃の動作などから考えます。
- 問四 文章の筋道をつかむ問題です。5 ページに「安易に頷く～してはいたじゃない」とあるように、「私」はクラスメイトに対する文乃の態度にも納得していません。
- 問五 文章の筋道をつかむ問題です。文乃をからかっているクラスメイトに対して憤りを感じている「私」にとっては、ここでの「笑い」は一般的なものではありません。エ、少し後の「このいらだちは～ものだけではない」と書かれていることを考えれば、不適切であることがわかります。
- 問六 文章の筋道をつかむ問題です。「なんで、笑ってるの」という「私」のセリフを聞いて、「かえ」が片眉を上げたことをつかみます。また、すぐ後の「トゲ」や「鋭い視線」という言葉にも注目します。
- 問七 文章の筋道をつかむ問題です。少し前に「でも本当に～思っているのだろうか」とあるように、「私」はクラスメイトが文乃をからかうことを「おかしいこと」と思っています。ただし記述字数を考えると、「クラスメイトにおかしいと言う」こと以外にも、解答のポイントがありそうです。4 ページで、「私」は「そんなに、からかわなくてもいいんじゃないかな」と言って、拳を握っています。「唇に歯を立て」るのと同じような強い意志を感じる動作ですが、この部分もヒントにして、「からかいをやめさせたい」という「私」の思いも読み取り、分かりやすい表現で解答にまとめてほしいと思います。
- 問八 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部だけを見ると、和久井がクラスのみとめ役であるように読めそうですが、まとめ役であることを自負している表現は本文中にありません。5 ページからの場面の変化に注目すると、和久井の言動によって文乃へのからかいが止まり、「私」と「かえ」の間の緊張状態も解消されていることがわかります。「一気に視線が～集まる」（5 ページ）、「誰ももう～いなかった」（6 ページ）という言葉にも注目します。

二

- 問一 「理由として適当ではないもの」を選ぶ問題であるので、まずは、理由が書かれてい

る本文の該当の部分を確認し、そこに含まれていない内容がある選択肢を選びましょう。問題の直後の段落から理由の説明が始まって12行ほど続いています。13行目の段落には「他方で…」と別の話題になっていることが明確ですので、そこまでの間に書かれている内容と選択肢を見比べて選びましょう。

問二 Iについて・・・「生後三カ月頃」という言葉は他の部分には出てきていませんが、「九か月」の前として書かれているのはわかります。すると、「九か月」の前にある「最初の頃」の言い換えであることがわかります。そこから「世話をしてくれる人だけを見ています」に当たる解答が「一対一」であると考えられるので解答が選べます。

IIについて・・・これは「九か月頃」の「その人が自分以外の何かを見ていると…」以下の部分に当たります。

IIIについて・・・直後に、「この過程で、・・・他者と協力するという活動をするようになってくるのです。」とあるため、これに合った解答が選べます。

問三 語句の意味を問う問題です。どちらも文章の流れがわかれば解答が選べます。

問四 傍線部を含む文が「このように」で始まっているため、「このように」が指している部分に傍線部の具体例があると考えられます。「このように」が指しているのは九行前の「UDトークは…」以下の文になります。

問五 傍線部を含む一文の冒頭には「社会性やコミュニケーションを支援するツールの開発」という言葉があり、これは直前の「人間の知的活動を支援するツールを開発」という部分と内容が同じです。すると傍線部は、「AIの新しい機能開発」であることがわかります。つまり、AIに「社会性」や「共感」という新しい機能を組み込むということを述べていることになります。そのように説明している選択肢を選びます。

問六 引用文から、「ケア」とは「世界」の「維持」「継続」「修復」であることがわかります。そしてこの「世界」とは「わたしたちの身体」「わたしたち自身」「環境」であるとも述べられています。問題は「人だけでなく」に続いているので、「環境」のことだと考えられます。ここから解答が選べます。

問七 傍線部は直前文にも同じ言葉があり、それはトロントが提唱することであると述べられています。その説明として、同じ直前文の中に「誰もがみな生涯を通じてケアに関わっていく」ということであるとされていますので、ここから解答が選べます。

問八 イ・・・10ページ18行目「感情労働の～あります。」の内容に反するためB  
ウ・・・9ページ17行目「対人関係を～ありません。」の内容に反するためB  
エ・・・「遠くで暮らしている人」に関する内容が本文にはないためB

### 三

- ① 「養蚕」を「養産」と書いていた誤りが目立ちました。語彙力・漢字力は国語の基本になる力です。辞書を活用して、学習を重ねましょう。